

8月4日(土)開幕! 「国際まんが博」

とっとりまんが王国とうっとり

著名な漫画家を多数輩出するなど、「まんが文化」が根づく鳥取県。8月4日からは、いよいよ「国際まんが博」が開幕します(11月25日)まで。そこで、同県を代表する3大漫画家の作品ゆかりの地や出身地を紹介。ファンはもちろん、作品のことを知らなくても楽しみは満載です!

メイン会場は移動式!
「とっとりまんが
ドリームワールド」

「国際まんが博」のメイン会場「とっとりまんがドリームワールド」は、8月4日(土)~14日(火)が鳥取市(東部)、9月7日(金)~23日(日)が倉吉市(中部)、10月20日(土)~11月11日(日)が米子市(西部)と、県内3地域を巡回する移動型です。ここで紹介した3人の漫画家の作品展示を中心に、「まんが空間」、グッズショップ、同県の食が楽しめるカフェスペースなど多彩なコンテンツを用意。各会場だけのイベントもあるので3つ共に見事です!

ゆかりの地を訪ねて<倉吉>

谷口ジローさんの「遥かな町へ」に登場する町並み



© 谷口ジロー/小学館

東京在住の中年男性が郷里にタイムスリップする物語「遥かな町へ」。鳥取市出身の谷口さんが舞台に描いた倉吉市内の玉川沿いには、江戸・明治期の土蔵や商家の町並みが保存され、往時の面影を残しています。真夏の太陽を雲が覆い、影を落とすように、しっくりの白い土壁は、なお鮮やか。散策の際、現代人にとっての「家族」「郷里」を問いかける同作を片手に歩くのも一興です。足を延ばすなら、谷口作品なども紹介した漫画コーナーが人気の「わらべ館」、ルネサンス様式の白亜の洋館「仁風閣」(共に鳥取市)へ。お楽しみグルメは県中部の人のソウルフード「牛骨ラーメン」を堪能あれ。



(左上から時計回りに) 風情豊かな白壁土蔵群/牛骨ラーメン/童謡とおもちゃの殿堂「わらべ館」/1907年に建てられた「仁風閣(じんぷうかく)」

ゆかりの地を訪ねて<北栄>

青山剛昌さんの「名探偵コナン」と「コナンの町」



© 青山剛昌/小学館

巧みな推理プロットで少年漫画に旋風を巻き起こした「名探偵コナン」の作者・青山さんの出身地、北栄町。ここは文字通り「コナンの町」で、最寄り駅のJR由良駅の構内には至る所にコナンの絵、さらに同駅から約1.4kmは「コナン通り」、橋の名前も「コナン大橋」という徹底ぶり。道すがらには、13体の銅像と30基のモニュメントが点在、同じポーズでの記念撮影が基本にして王道です。ゴールの「青山剛昌ふるさと館」には複製原画の展示の他、おなじみのちょうネクタイ変声機も! グルメの一押しは、隣の琴浦町のご当地バーガー「あじ(トビウオ)カツカレーバーガー」です。



(左上から時計回りに) あじカツカレーバーガー/由良駅前記念撮影するカップル/ファンにはたまらない「青山剛昌ふるさと館」/コナン大橋で見つけたコナン像

ゆかりの地を訪ねて<境港>

水木しげるさんの「ゲゲゲの鬼太郎」と妖怪たちがお出迎え



© 水木プロダクション

真打ち、ご存じ「ゲゲゲの鬼太郎」。生みの親・水木さんの故郷、境港市もまた「鬼太郎の町」です。JR境港駅から約800mにわたる「水木しげるロード」には139体の妖怪のブロンズ像をはじめ、建ち並ぶ商店も妖怪一色。「妖怪さんまに」に興じた後は秀峰・大山(だいせん)の麓を目指しましょう。「大山みるくの里」のソフトクリームや、「ピアホフガンパリュウス」の世界一に選ばれた地ビールが待っています。帰りに、水揚げされたばかりの海の幸が並ぶ境港水産物直売センターへ立ち寄り、再び同ロードへ。今春リニューアルされた「水木しげる記念館」が「ゲゲゲの旅」の集大成です。

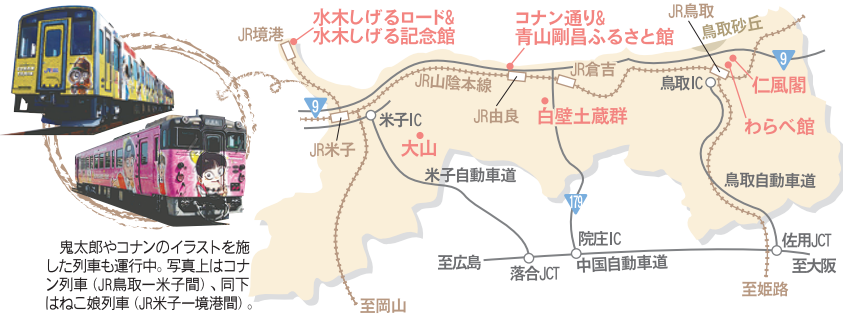


(左上から時計回りに) 誰もが夢中になる水木しげる記念館/大山のソフトクリーム/水木しげるさんと鬼太郎のブロンズ像/境港で水揚げされた魚介

「まんが王国ゴールドビザ」をプレゼント!! (詳細は、7面を参照)

アクセス 【倉吉】電車…JR名古屋→(新幹線)→JR姫路→(スーパーはくと)→JR倉吉(約4時間) 車…小牧IC→(名神高速道路→中国道)→院庄IC下車、国道179号線で倉吉市街へ(約350km) 【北栄】(同上)→JR倉吉→JR由良(約4時間20分) 車…小牧IC→(名神高速道路→中国道)→院庄IC下車、国道179号線で北栄町へ(約370km) 【境港】電車…JR名古屋→(新幹線)→JR岡山→(やくも)→JR米子→JR境港(約4時間45分) 車…小牧IC→(名神高速道路→中国道→米子自動車道)→米子IC下車、境港市へ(約400km)

問い合わせ 鳥取県名古屋代表部(中日ビル4階 電話052・262・5411) <http://www.pref.tottori.lg.jp/nagoya/>



鬼太郎やコナンのイラストを施した列車も運行中。写真上はコナン列車(JR鳥取-米子間)、同下はねこ娘列車(JR米子-境港間)。

中日新聞社発行「ショッパー」掲載(2012年8月2日号)